

市民の命と暮らしを守る

新型コロナウイルス感染症への対応をはじめ2年が経過しました。これまでワクチン接種や2日市PCRセンターの設置、影響を受けた方や事業者の支援など、職員と一丸となって様々な困難を乗り越ってきました。私たちは、このコロナ禍で多くを学び経験しました。



新型コロナウイルス感染拡大をはじめ、大型化する災害など、私たちがこれまで経験したことのないことがいつ起きてもおかしくありません。私をはじめすべての職員がこれまでの経験を活かし、市民の皆さまの命と暮らしを守るために、令和4年度も尽力してまいります。

もっと無駄を減らすために 事業評価制度

行政という大きな組織は、いったん動き出したものを方針転換させたり立ち止まったり考えたりする習慣が芽生えにくい環境にあります。しかし、結果の出ないものをいつまでも漫然と続けていては、お金・時間・労力の無駄です。

時間の経過とともに市民ニーズが低くなったものを見直すことは、当然のことです。いったん立ち止まり、事業の有効性を検証する「勇気」と「柔軟性」は職員に確実に浸透してきており、今では日常的に事務事業全般の見直し作業を行っています。

さらに、令和3年度から各部署を超えて全庁的に施策や事業の在り方を考える事務事業評価制度を導入しました。日常の事務事業の見直し作業と、事業評価制度で事業を精査した結果、新年度予算の削減効果額は、約1億7千6百万円と大きな成果を出すことができました。

もっと民間の力を行政に 民間提案制度

民間事業者との連携を加速させ、市民サービスの向上や業務の効率化、財政負担の軽減などを実現するため「民間提案制度」を導入しました。この制度は県内では初めてで、全国的にも先進的な取り組みです。

新たな負担なく様々な課題を解決することができ、大きな財政効果ができています。

企業名	提案内容
(株)マリモライフ	施設照明のLED化により生じる電気料金と維持管理費の削減分を原資にして、初期投資なく市役所本庁舎・支所、商工保健会館、小中学校など39施設の照明をLED化する。
大和リース(株)	上記と同様の手法で、街路灯の一律LED化を実施する。
日本電技(株)	上記と同様の手法で、消防署、市民センター、保育園、給食センター、廃棄物処理施設など42施設の照明をLED化する。
(株)ウエストエネルギーソリューション	太陽光発電による電気料金の削減分を原資にして、これから新築する吉和支所複合施設に初期投資なく太陽光パネルと災害時に有効な蓄電池を設置する。

創意工夫で「財源」を生み出す 宮島訪問税

昨年3月議会において「宮島訪問税条例」が市議会でも可決されました。この条例可決は、財源確保に苦慮する全国の自治体から注目を集めています。今年度は税を徴収するためのシステム構築を整備します。

税の徴収は、観光客の動向などを見極めながら、令和5年度中の開始に向け準備を進めています。一流の観光地「宮島」を将来にわたり守るための貴重な財源を捻出することができます。

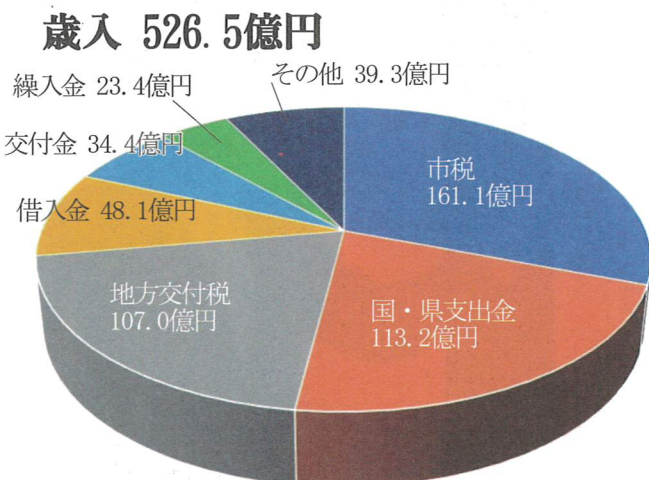


ふるさと納税増加

令和2年度のふるさと納税額が、過去最高の約2億円を上回りました。令和4年度は寄付額3億5千万円を目指して取り組みます。コロナ禍での巣ごもり需要もありますが、返礼品を増やしたことで寄付額が大きく増えています。

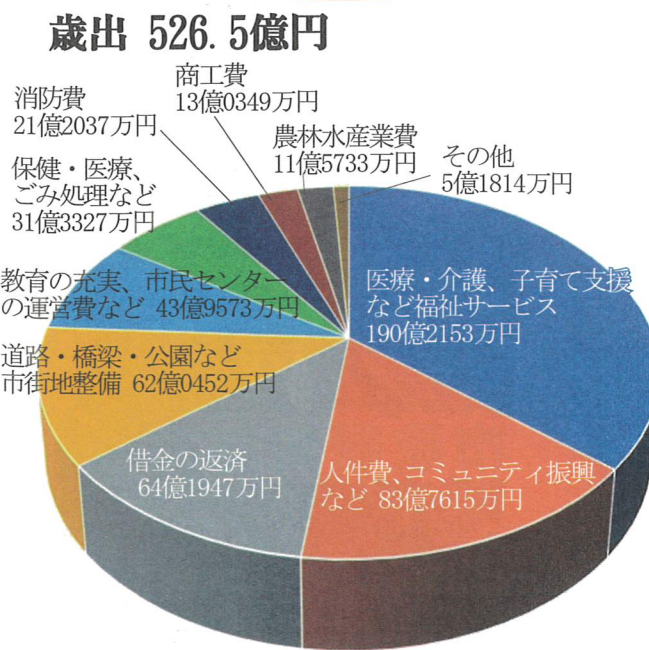
市民の暮らしと街の未来を想像した予算編成 剛くて優しいまち

市民の生活とまちの未来を想像しながら、今年度の一般会計は総額526億5千万円の予算編成を行いました。新年度の予算編成をする上で大事にしたことは、これから厳しくなる自治体間競争を勝ち抜くことのできる「剛いまち」でなければならぬという事と共に、どんな立場の方でも、また、いかに社会が変わろうとも、住み慣れた場所に安心して住み続けられる「優しいまち」にしていきたいということです。



「もっと」できる

人口減少や行財政運営など、地方自治体を取り巻く環境は、今後、益々厳しさを増してきます。こうした状況を受け、職員の意識は確実に変わってきていると感じています。新しい事に挑戦しようとする姿勢が芽生え、常にもっと



街の未来をデジタルで創造する デジタルで質の高いサービスを

デジタル化により行政サービスを始める社会の在り方が変わります。デジタルを最大限に活用し、行政サービスだけでなく生活すべてにおける利便性の向上を目指します。

24時間365日どこからでも サービスを受けられる市役所へ

このデジタル技術により、近い将来は「いつでも」「どこにいても」オンラインで様々な手続きが完結できるスマート市役所を目指しています。市民がより快適でライフスタイルに合った暮らしを実現できる行政サービスの提供を目指します。

便利で快適に目的地へ 移動できる交通環境

民間バス、市自主運行バス、電車、タクシー、フェリーなど、公共交通機関をITを用いてシームレスに結び、人々が効率よく便利に使えるシステムの構築を民間交通事業者と



連携しながら進めます。スマートフォンを使い、利用者が目的地に至るすべての交通手段のなかから最適な組み合わせを検索し、必要な予約や手配と同時に決済まで出来るシステムの構築を目指していきます。また、最大のメリットは、料金の合算です。目的地に到着するまでに利用したいくつかの交通機関の料金を単に足し合わせるのではなく、割引制度を導入することで、料金負担の軽減を図ることができるようになります。

安心して住み続けられるまちへ

災害に強いまちへ

近年、台風や大雨による被害が大きくなっています。そこで、河川の浚渫や浸水対策、防災公園の整備、公共施設の耐震改修促進などのハード整備に併せ、緊急ハザードマップの作成や高齢者や障がい者の緊急時の個別避難計画の作成などソフト対策も進めています。

昨年、7月8日の早朝に時間雨量70ミリという、かつて経験したことのない豪雨に見舞われ、地御前の国道2号線が最大70センチ浸水し、約2時間通行困難な状態が続ぎ、さらに周辺の9軒の家屋も床上浸水する被害が出ました。そこで、国土交通省に対して、排水ポンプの増設に向けて国からの補助金をいただけるよう要望活動を行うとともに、整備工事の準備を進めています。

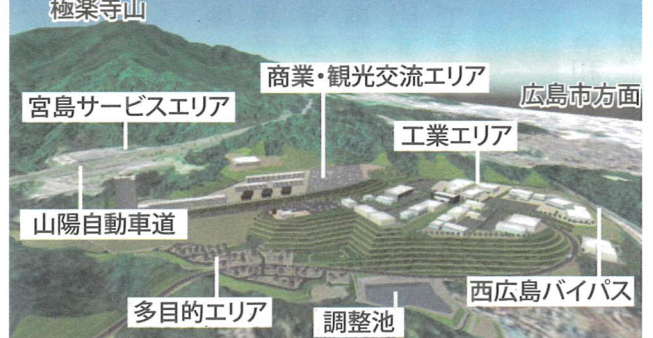


排水ポンプを増設する扇ポンプ

まちの魅力向上に向けて

新機能都市開発事業

上平良地区に整備するこの事業区域には、工業施設だけでなく観光施設も誘致します。



極楽寺山 商業・観光交流エリア 広島市方面 工業エリア 山陽自動車道 西広島バイパス 多目的エリア 調整池

宮島と共に多くの観光客を魅了する新たな資源が誕生するのです。宮島との相乗効果により「観光」が本市の主要産業として更に大きく成長することになるでしょう。工業施設用地では、設備投資や事業拡大により、効率性や生産性が高まり、雇用の拡大や地域経済への好影響による市税収入も増加します。

皆さんの声を国へ

広島南道路

広島南道路の未接続区間である木材港西から廿日市IC間の早期事業化の要望を広島市長とともに続けてきました。この道路整備は広島湾沿岸部の交通環境を劇的に改善し、廿日市市中心部の交通円滑化にとっても不可欠です。

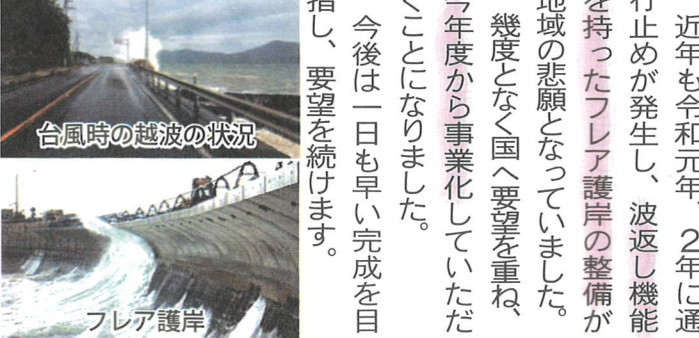
これまでの要望活動が実り、今年度から事業化していただくことができました。この整備決定は、将来の廿日市の発展に向け大きな一歩となります。沿岸部の土地需要は益々高まり、その経済的恩恵は市内全域に及ぶこととなります。



齋藤国土交通大臣へ要望活動

鳴川海岸護岸整備

国道2号線廿日市丸石から大竹市玖波間は、台風による越波により度々通行止めが発生しています。近年も令和元年、2年に通行止めが発生し、波返し機能を持ったフレア護岸の整備が地域の悲願となっていました。幾度となく国へ要望を重ね、今年度から事業化していただくことになりました。今後は一日も早い完成を目指し、要望を続けます。



台風時の越波の状況

フレア護岸

未来がおもしろい「廿日市市」



市政報告誌

VOL.2

つよ 剛くて優しいまち「廿日市市」

廿日市市長

松本 太郎

たろう通信

【松本 たろう 後援会事務局】

〒738-0056

廿日市市阿品台山の手3番13号

TEL 0829-39-0102

FAX 0829-39-0103